



和光市長

誰もが輝ける和光市をつくる

みつこ

しばさき光子

先日お届けしたvol.1では『4年間の活動』と『公約の取組状況』をご報告しました。
このレポートでは新たな『決意』と『政策』についてお伝えしたいと思います。



1期4年を振り返り、新たな想いを語る

4年間の任期を振り返ると、**公約の8割に見通しを付けることが出来ました。**

(完了、進行中、着手済みを含めて算出。詳細は後日、和光市ホームページで掲載予定です。)

一方で就任から約2年間はコロナ対応に追われた期間でもありました。そのため、私自身やり残した政策もあると感じています。また、**コロナ禍を通して浮き彫りになった課題**もあります。これらの課題解決に向け、さらなる責任を果たし、政策を実現したいと考えております。そのために掲げる新たなスローガンがこちらです。

着実に一歩ずつ前へと進んできた**和光市を、さらに一歩前へ！**皆さまと共に、より魅力的で誇りある和光市をつくってまいります。

和光市をさらに
一歩前へ重要政策
その1

地域コミュニティを

さらに

一歩前へ



上谷津公園の焼き芋大会の様子。公園設計の段階から地域の声が活かされました。こういう事例を増やしたいと思います。



市内で活躍する環境団体の自然観察会に参加しました。多くの子どもたちも参加しています。例えば「自然×不登校支援」のような相乗効果を生むような支援策を進めます。

コロナ禍においては、市民の皆様と直にお話しする機会も少なく、また市民同士の交流機会も少なくなっていました。最新の自治会加入率も35%を下回っています。そこで、新たな政策の柱に「市民同士の結びつきの確保」を掲げ、様々な取組を進めます。

具体的政策

- あらゆる市の施策に「**コミュニティ活性化**につなげる」という視点を加えます
- 「**地区社協**」の取組を支援し、その存在を市民に広く周知し、参加する市民を増やします
- 異なる分野で活躍する**市民団体をマッチング**して、活動の輪を大きくします
- 国交省の後押しで行われる「**広沢地区まちなか再生推進事業**」に積極的に参加し、将来的に**市内全域での応用**につなげます
- 和光市には様々な分野で活躍している人が大勢います。「自分の住む地域にそういう人が居るんだ」と知ることでもっと地域に愛着を持てるように「**(仮称)誰もが目指せる市民栄誉賞**」を創設します

重要政策
その2不登校や発達支援を含む
こどもの居場所づくりを

さらに

一歩前へ



第3回しばcaféの様子。この時も不登校支援や発達支援について多くのご意見をいただきました。



和光市では昨年度「こども意見交換会」を開催しました。これからもこどもや若者の声を市政に反映させてまいります。

昨年「しばcafé」という意見交換会を3回開催しました。参加者の方から最も多くいただいた声は「**不登校**」や「**発達支援**」に関するご意見でした。子育て家庭に寄り添う教育・福祉の推進を重要政策として取り組んでまいります。

具体的政策

- 「**多様な居場所**」と「**学びの選択肢**」をつくって、未然防止→早期発見・支援→長期化対応体制を築きます。特にメタバースやオンライン教材の活用も進めます。また長期化する場合の**不登校児家庭を支える**仕組みづくりを市の部局を越えて実現します
- 子どもたち、特に発達に課題のあるお子さんの心身の発達を、遊具や運動を通して促す「**運動療育**」の視点を取り入れた屋内型運動施設(ジム)を市内公共施設に整備します
- 保育の「**量**」から「**種類**」への**転換**(保育定員の確保のための小規模保育から、様々な子育てニーズに特化した保育への転換)を促します
- 「朝の小1の壁」を解消するため小学生の「**朝の居場所づくり**」を行います

2連ポスター貼らない宣言！

現在、街なかに「2連ポスター」と言われる政治家の顔写真入りの政治活動ポスターが掲示されていますが、**私は自身のPRを目的とした2連ポスターの貼り出しはしません。**理由はシンプルで、街の景観行政を司る者が自ら街の景観を損ねることをすべきでないと考えからです。

その他の
詳しい政策は
ウラ面を
CHECK！

みんなで描く 夢と政策の和光地図



この4年間、**市民**の皆さま、**市議会**の方々、そして共に汗する**市職員**からも和光市をより魅力的なまちにするための**多くのアイデア**をいただきました。それをまとめたのが、この「**みんなで描く夢と政策の和光地図**」です。

1
駅北口

2
駅南口

●「**区画整理**」と「**駅前再開発**」を推進し、和光市の新たな玄関口として相応しい街並みを形成します
●再開発では、市民の声を反映した**公共公益機能**、通行動線に合わせた**交通誘導**を取り入れます
●県の協力を得て、朝霞方面への**右折車渋滞**を緩和します
●南口ロータリーに「**短時間の駐車ならば無料**」で停められる駐車場を整備します

3
上・下水道の老朽化対策

●国・県とも協力して、市内に埋没された上・下水道**老朽化調査や修繕**に全力で取り組みます

4
和光スポーツアイランド

●**自動車でのアクセス改善**について県下水道局と交渉を続けます
●**市民で構成される団体が優先的に**利用できるよう運用を再度見直します

5
和光北インター周辺

●「**イノベーション×ウェルネス**」をキーワードに、県南西部の玄関口に相応しい**活力あるエリア**を目指します

6
和光バイパス

●**国・県・都と連携して推進**すると共に、地域分断に対して地元の声を聴き徹底的な対策を行います

7
農業振興

●「**近いが美味しい**」**和光市農産物**の販路を拡大します
●**市民の農業体験**を促進します

8
市役所運営

●**多角的な視点で副市長人事を行います**。
市の課題・状況に合わせて、任期や人数など**柔軟に副市長を登用**し、多角的な視点で市政運営を行います（※市議会の提案で最大2名まで登用可）
●「**議会の見える化**」への**協力と予算確保**
例えば、議会が「**委員会のネット中継を行う**」と決めたら、そのための**予算と協力体制**を整えます

9
和光樹林公園

●**県・指定管理者と連携して、カフェの誘致や演奏会の開催**など、さらなる市民の憩いの場、文化・スポーツ活動の拠点として活用します

11～18は和光市全域に関わる共通政策です

和光市 MAP

11
教育全般

●「**教育長への手紙**」を**スタート**します
担任や学校長への相談だけでは解決しない課題や全校共通の課題について意見を出せるようにします
●給食の「**豊富化**」
給食が重要な栄養源になっていることも鑑み、ボリュームや品数などを工夫し、楽しみながら健康的な食生活を送れる取組を行います
●教育のDX
授業での活用はもちろん、進学・進級時の書類提出のDX化も進め、手続きの簡素化も進めます
●**研究所や企業との連携**
和光市の学校ならではの経験や学びの機会をつくります

12
高齢者施策

●特別養護老人ホームについては公募条件の見直しなどを行い、**早期整備**を目指します
●介護人材確保のため、介護福祉士等の**資格取得者に手当**を支給します

13
市内公共交通

●**市内循環バス**の乗り継ぎや利便性向上及び**民間バス**の路線維持を行います
●一層深刻化する運転手不足に備えるため、**自動運転バス**の実用化に向けた取組を推進します

14
防災

●能登半島地震を教訓に**口腔ケア**に対応した備蓄用品を整備します

15
文化芸術振興

●音楽やアートなどの多様な文化・芸術を、コミュニティ、国際交流、高齢・障がい福祉、観光、シティプロモーションなど多面的に活用し、**市民が気軽に文化・芸術を楽しめる環境**を整備します

16
スポーツ

●「いち市民いちスポーツ」の実現を目指して「**新しいスポーツ**」や手軽に出来るスポーツが出来る機会を増やします
●全国の公共施設で初導入となった「わびあ」の新感覚スポーツ「**HADO**」を部活動にする取組を応援します

17
景観形成

●景観を損ねる「**政治ポスター**」を減らします
県の屋外広告物条例の運用を的確に行い、市内に**政治ポスターが無秩序に貼られる状況**を改善し、より良い景観を実現します
●**街路樹の適正管理とアート活用**
「**和光市街路樹マネジメント方針**」に基づき、倒木や根上がりの恐れのある街路樹を適正管理すると共に、**切り株をアート**として活用し、地域おこしに繋がります

18
2つの宣言

●**ゼロカーボンシティ宣言**
2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、市庁舎や市民の省エネ機器への切り替え等を促進すると共に、市内企業・研究所と連携して取り組みます
●**平和都市宣言**
令和7年度の**広島平和記念式典への中学生派遣事業**を皮切りとして、継続して市民、特に子どもたちが平和の大切さを感じられる事業を行います

10
米軍基地

●**アンテナ基地の早期全面返還**を引き続き要請し、将来のまちづくりにつなげます

去る3月28日に和光市として初の防衛大臣要望を行いました